

# 「相模原市の地域づくりを考える～障害者支援からみえる地域課題より～」を開催しました



平成30年12月17日（月）に「相模原市の地域づくりを考える～障害者支援からみえる地域課題より～」として、基幹相談支援センター、障害者相談支援キーテーションによる地域課題の取り組みの報告を行いました。

当日は、民生委員、社会福祉協議会（CSW）、高齢者支援センター、障害福祉サービス事業所、相談支援専門員、行政職員など様々な地域の関係者の方、70名以上の方にご参加いただきました。

報告会では、地域課題への実践的なアプローチとして、地域課題を可視化して共有することや地域課題への取り組み方法について紹介しました。意見交換では、参加者から、障害者、高齢者等が交流・活動できる場として、「障害児通学支援のボランティア活動」「緑区におけるふれあい農園の取り組み」「小山地区におけるみんなの畑の取り組み」など各地域における取り組みが紹介されました。

最後に、スーパーバイザーとしてお越しいただいた筑波大学大学院小澤温教授より「これまで各地でグループスーパービジョンの研修を行ってきたが、相模原市でしっかり花開いていると感じた。個別支援から地域課題をきちんと考えられている。このような報告会がまさに協議会であると感じる。今後も大事にしてほしい」「地域課題に対して既にあるものを活用する、公益活用の着目の視点はとても重要である」「研修講師にあえて他領域の方を招くのはとても良いことである。講師自体に障害者支援の意識改革・啓発の効果が得られる」などの講評をいただきました。参加者の方からは、「基幹相談支援センター、障害者相談支援キーテーションによる地域課題の取り組みが理解できた」「一緒に取り組んでいきたい」など、相模原市の地域づくりにむけて共に進めていきたいという感想を伺っています。

今後も、地域の皆さんと共に障害者支援の視点から活動を続けていきたいと考えています。（生活相談課）

